

特別展

高野山開創と丹生都比売神社

大師と聖地を結ぶ神々

同時
開催

特集展示

高野山と有田川流域の仏教文化

平成27年(2015)

4月25日(土)~6月7日(日)

- 休館日 月曜日(ただし5/4は開館、5/7は休館)
- 開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)
- 入館料 一般 510円(410円) 大学生300円(250円)
※()内は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者、県内在学中の外国人留学生は無料。
- 主催 和歌山県立博物館
- 協力 (公財)和歌山県文化財保護協会・(一社)和歌山県文化財研究会
- 講演会 「丹生高野四社明神をめぐる地域史—新出の女神像を中心にして」
日 時: 5月31日(日) 13:30~15:00 ※申込不要
講 師: 大河内智之(主査学芸員)
会 場: 和歌山県立近代美術館(博物館となり) 2階ホール
- ミュージアムトーク
学芸員による展示解説、13:30~14:30、入館料必要
4月25日(土)、5月3日(日)、5月23日(土)、6月6日(土)

和歌山県立博物館
<http://www.hakubutsu.wakayama-c.ed.jp>
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
—和歌山城・南側—



高野山開創と丹生都比売神社 −大師と聖地を結ぶ神々−

同時開催 特集展示 高野山と有田川流域の仏教文化 平成27年(2015) 4月25日(土)～6月7日(日)

高野山麓、かつらぎ町天野の地に鎮座する丹生都比売神社は、開創1200年を迎えた高野山の鎮守社として古くから篤い信仰を集めてきました。平成16年には高野山や町石道などとともに「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されています。

主祭神の丹生都比売命(丹生明神)は、紀ノ川から有田川の流域にかけて広く信仰される女神で、弘仁7年(816)に弘法大師空海が高野山を開創する際に、犬を連れた猟師の姿の狩場明神(高野明神)が仲立ちし、この女神から広大な神領を引き継いだとする伝承がよく知られています。この特別展では空海による高野山開創の経緯をたどりながら、高野山と丹生都比売神社祭神の関わりを、地域の歴史とともに紐解きます。

あわせて同時開催の特集展示では、高野山の奥之院を源流とする有田川流域における仏教文化の諸相を、仏像や経典からご紹介します。特別展と特集展示を通じて、世界遺産・高野山とその山麓に広がる文化圏の歴史とその豊かな魅力を、広くお伝えする機会となりましたら幸いです。



①丹生明神坐像及び女神坐像(三谷薬師堂・個人・銅製神像とその木型がともに残る唯一の作例)、②狩場明神像(個人・和歌山県指定文化財)、③丹生高野四社明神像(興山寺)、④三教指帰(金剛三昧院)、⑤御造告二十五簡条(三宝院)、⑥天体形立像(大福寺)、⑦地蔵菩薩立像(薬師寺・和歌山県指定文化財)、⑧觀音菩薩立像(法福寺・特集展示)、⑨十一面觀音立像(法音寺・重要文化財・特集展示)、⑩鉦鼓縁(丹生都比売神社・和歌山県指定文化財)、⑪弘法大師坐像(普門院・丹生都比賣神社御影堂伝来)表紙:丹生明神坐像(三谷薬師堂)、両界曼荼羅図(興山寺)



関連展示

高野山靈宝館 (和歌山県伊都郡高野町高野山306)

開創1200年記念展 初公開! 高野山の御神宝

—壇上伽藍御社の奉納品—

前期：平成27年(2015) 3月21日(土)～5月21日(木)〔会期中無休〕

後期：平成27年(2015) 5月30日(土)～7月 5日(日)〔会期中無休〕

開創法会期間限定特別公開 高野山三大秘宝と快慶作孔雀明王像

平成27年(2015) 4月2日(木)～5月21日(木)

※お問い合わせ：0736-56-2029

和歌山県立博物館展覧会予定

高野山開創1200年記念特別展 弘法大師と高野参詣

平成27年(2015) 9月19日(土)～11月1日(日)

